

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の感染制御対策等について

感染性胃腸炎の患者発生は、毎年12月中旬頃にピークとなる傾向があります。

この時期に発生する感染性胃腸炎の集団発生例の多くはノロウイルスによるものと推測されています（※1）。

国立感染症研究所によると、今シーズンの感染性胃腸炎についてノロウイルスによるものではGII.17が主流となるようです。

なお、簡易検査キットでは陽性を示さない例があるため注意が必要です（※2）。

事業場でノロウイルスによる感染性胃腸炎が発生した場合には、感染した者の糞便・吐物から他の労働者への二次感染が想定されますので、ノロウイルスに関する基礎知識や感染予防等についてまとめた「ノロウイルスに関するQ&A」（※3）や「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い」（※4）を参考にしてください。

※1 「ノロウイルス検出状況」

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

※2 「ノロウイルス GII.17 型の流行とその特徴について－三重県(IASR2015 年5月号)」

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/1023-disease-based/na/norovirus/idsc/iasr-in/5695-kj4233.html>

「Evaluation of immunochromatography tests for detection of novel GII.17 norovirus in stool samples (Eurosurveillance2015年7月16日)」

<http://www.eurosurveillance.org/ViewArticle.aspx?ArticleId=21185>

※3 「ノロウイルスに関するQ&A」（厚生労働省ホームページ）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

※4 「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い」（動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM>